

令和2年度
長泉町立北小学校
学校だより 第12号
令和3年1月7日発行



城山の子

学校教育目標
自他を大切に、新しい明日をひらく北小の子

学校評価と北小学校の“6つの教育課題”

長泉町立北小学校長 鈴木 恒

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな初春をお迎えのことと存じます。昨年同様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の正月は、例年になく穏やかな陽気が続き、度々、山頂から麓までの稜線がくっきりとした美しい富士を眺めることができました。末広がり富士の勇姿に、今年が“希望の年”となることを期待しながら、「コロナウイルスの感染収束」「平和で幸多き新年に！」との願いを込めました。

さて、本校では、現在、児童及び保護者アンケートを参考に、これまでの教育活動を振り返り、教育実践の分析と検証作業（学校評価）を進め、次年度の学校経営方針や学校教育目標、教育課程編成に係わる基本方針などについて共通理解を図ってきました。

今号では、この学校評価に係わり、令和3年度の北小学校の学校経営の基本骨子となる「6つの教育課題」を紹介させていただきます。



- ① 学校教育目標「自他を大切に、新しい明日をひらく北小の子」の具現化を目指します。
- ② 経営理念「あなたが大切」を基盤に「自他を大切に教育」を充実させるとともに、学校経営目標「自分で考え、実行する子の育成（自主・自学）」「ともに生きる力の育成（自律・自治）」「地域と共に歩む学校づくり（社会に開かれた教育課程）」を具体化する一年としていきます。
- ③ 子供に育みたい資質・能力（何ができるようになるか）を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」に「言語能力」「協働性」をプラスした「育みたい5つの力」と定め、これらの資質・能力が培われる「カリキュラム・マネジメントの充実」、「主体的・対話的で深い学びの授業改善」を推進し、特色ある学校づくりを実現していきます。
- ④ With コロナ時代&ポストコロナ時代、さらには子供に一人一台の端末が配布されるGIGAスクール構想スタート元年を踏まえ、「予測が困難な時代」に耐えうる北小ならではの強靱で柔軟（レジリエント）な「社会に開かれた教育課程」を創造していきます。
- ⑤ 引き続き一点集中型の組織力向上を意図した「ステージ制」を堅持します。なお、令和3年度は、ステージ制に年間を通して「北小学校創立50周年」を意識した教育活動を取り入れ、子供たちの「愛校心」「ともに生きる力」を育むとともに、地域の人・もの・ことなどの経営資源を投入しながら、「地域と共に歩む学校づくり」を一層充実させていきます。
- ⑥ 上記の教育課題への取り組みとともに、「働き方改革」を学校経営の両輪として推進していきます。そもそも学校の組織力の源泉は、心身ともに健康な教職員の活力にこそあります。職場内の業務改善と意識改革を進め、多忙感を緩和し、子供と向き合う時間やゆとりを生み出し、教職員本来の業務を充実させていきます。